

能生中学校だより



三一録

令和4年9月21日

9月号

糸魚川市立能生中学校

☎ 949-1352 能生2643

☎ 025-566-2065



能生中ホームページ <http://www.itoigawa.ed.jp/nou-jhs/>



先手挨拶 / 心地よい反応 / 満点学習 / 感謝の連鎖 / 地域に貢献

誠意ある挨拶で SNGsの実現を

校長 吉田 和則

SNGs

呼称: エスエヌジーズ

(Sustainable Nou JHS Goals 持続可能な能生中の目標)

今月号で紹介しているようにR4年度前期の
学校評価で、能生中生が主体的な学校生活を送

っていることを大変うれしく思っています。

昨年度、創立30周年を記念して、全校生徒で策定したSNGs活動に対する自覚と未来の仲間に伝えていきたいという強い意志の表れでしょう。『心地よい反応』の下で、学び合う集団として高まった教室で、意欲的に課題解決に向かい『満点学習』の能生中生だからこそ、「授業がわかる」と回答する生徒が9割を超えたのでしょうか。

今年度も『地域に貢献』を意識して、小中高・地域合同の挨拶運動や花街プロジェクトを継続して行っています。9月下旬に行われるシオエリア遠足でも、神道山の階段清掃や藤崎海岸の海洋ゴミ回収を昨年引き続き計画しています。その活動に加え、新たに吹奏楽部が、「iACTiON 糸魚川」のイベントで夕日コンサートを開催したり、文化活動部は、能生地区の「灯籠揃い」に、地域の方の協力で二台の灯籠を作りあげたりと『感謝の連鎖』を形として遺してくれました。今年の4月に実施した全国学力・学習状況調査で本校3年生は、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の質問項目で全国平均を20%以上超える肯定的な回答をしています。地域への感謝の気持ちを行動で示してくれているのです。

「進んで挨拶をする」の肯定的な回答が9割を超えているように、校内での挨拶の声は、どこかしこからも響いてきます。来客の方々も「能生中生の挨拶は素晴らしい」と褒めてくださいます。ただ、『先手挨拶』とは、相手より先に声を出すということだけでなく、相手に誠意が伝わるのが大切です。声に出さずとも丁寧に会釈することでも誠意は伝わります。

出張がない限り、朝7:30には生徒玄関前で挨拶立哨を行っています。近隣の小学生や地域の方とも挨拶での交流を進めています。元気よく笑顔で挨拶を返してくれる子や目を合わせて丁寧に会釈してくれる子がほとんどですが、見知らぬ大人である私に伏目がちに急ぎ足で歩を進める子もいます。まだまだ小学生には、心を許せる存在になっていないんだなあーと痛感する時があります。能生中の皆さんは、地域に帰っても、見知らぬ人でもしっかりと挨拶ができていますでしょうか。誠意をもって元気に挨拶することは、地域を明るくする最大の貢献活動です。そして相手に対して敬意や感謝を伝える大切な手段です。そこには、お互いに心地よい瞬間があるはずです。地域の方や家族の方々と誠意ある挨拶ができることで、SNGsの4項目が達成されているのです。

明日からも、相手に誠意が伝わるように生徒玄関前の挨拶立哨を続けていきます。

【学校評価】

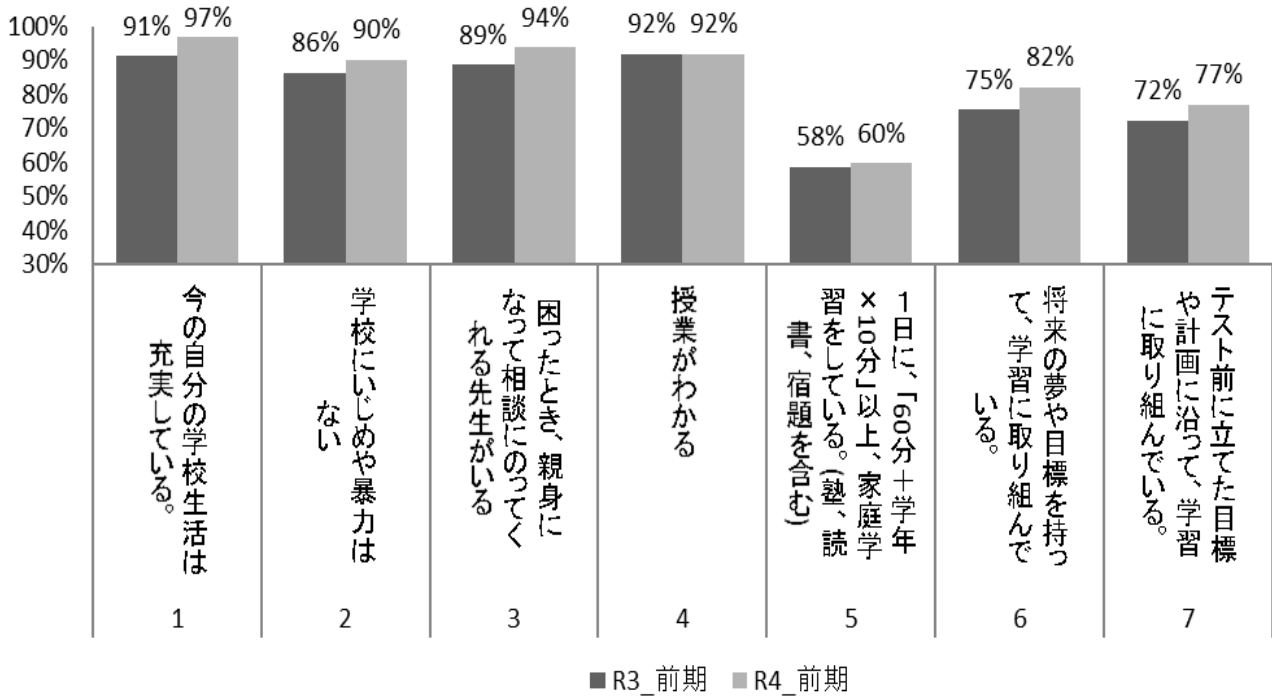
令和4年度前期の学校評価と今後の方向性

令和4年9月

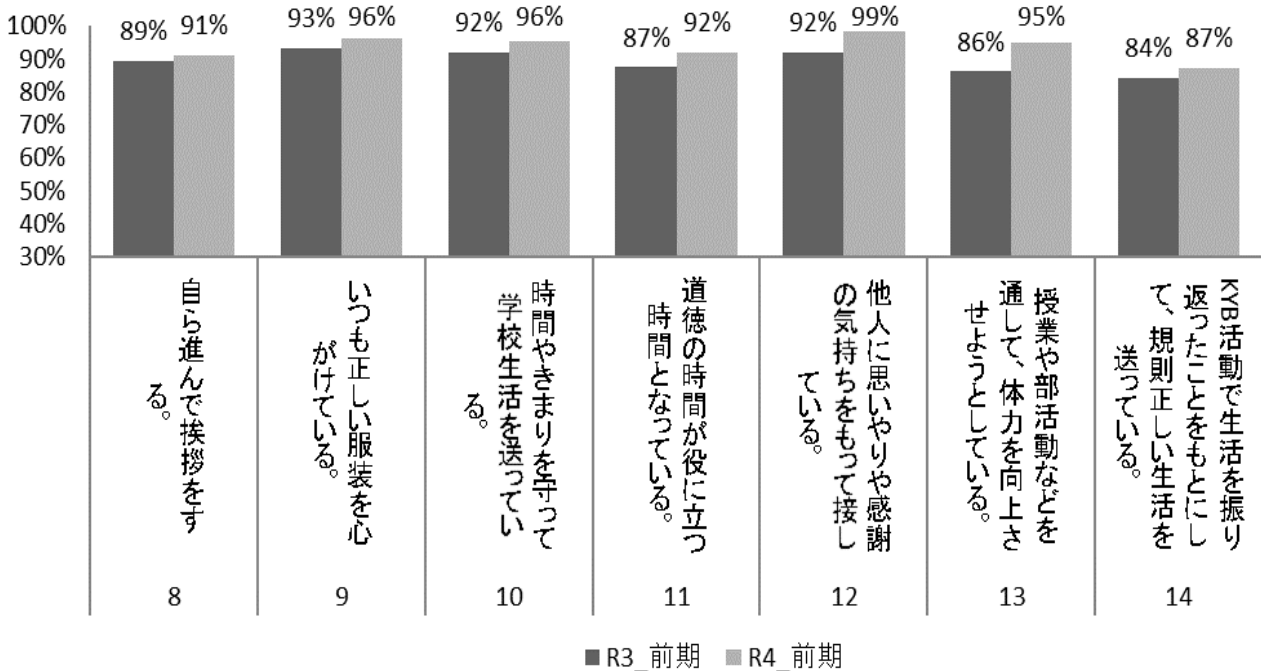
前期生徒アンケート<7月実施>

肯定的評価（あてはまる・だいたいあてはまる）に回答した比率をグラフで示しました。

I 学校運営（1～3） II 学習指導（4～7）



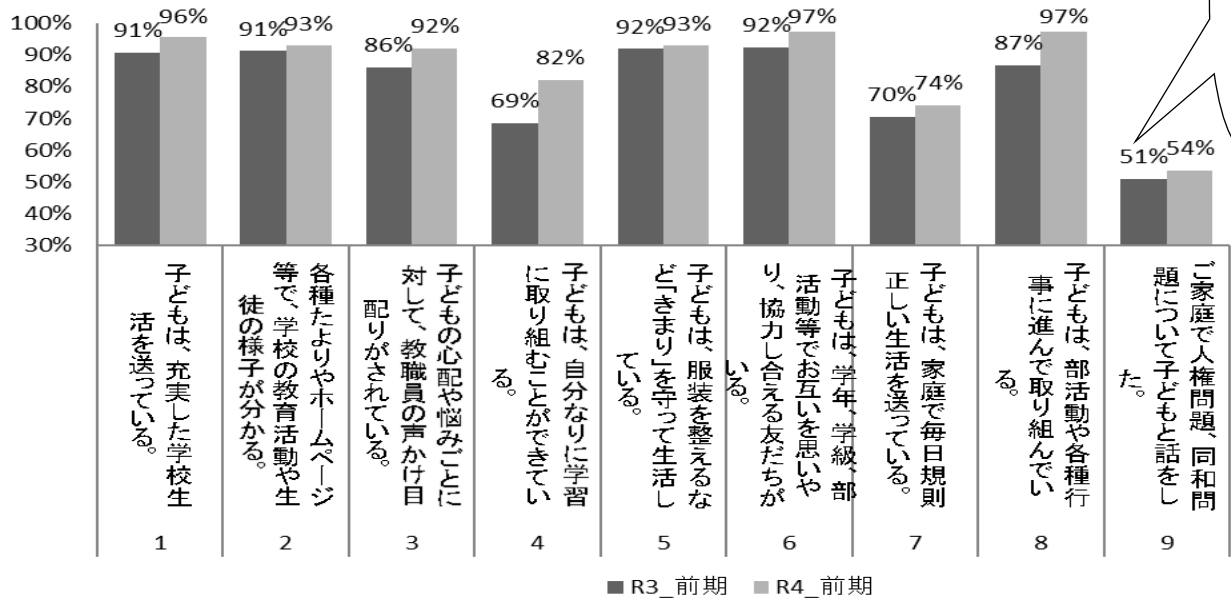
III 生活指導（8～12） IV 健康指導（13、14）



前期保護者アンケート<7月実施>

<お忙しい中、アンケートに御協力くださり、大変ありがとうございました。>

肯定的評価（あてはまる・だいたいあてはまる）に回答した比率をグラフで示しました。



I 学校運営

全体的に、昨年度と比較して肯定的な意見が高くなりました。今後も生徒に寄り添い、励まし、賞賛することで、生徒の自己肯定感を高めていきます。いじめを見逃さない指導も徹底していきます。ホームページ上の基本方針のように、された人が嫌だと思えばいじめです。これまで以上に生徒が安心して安全に学校生活を送ることができるよう努めて参ります。

II 学習指導

家庭学習の充実が大きな課題と捉えています。「授業がわかる」と肯定的に答える生徒が92%と高い数値である反面、家庭学習は60%と低い状態です。学校ではそれぞれの生徒が夢や希望をもち、計画的に学習に取り組んでいけるよう指導していきます。各ご家庭でも生活リズムを振り返り、主体的に学習するよう励ましてください。

III 生活指導

全体的に肯定的な意見が高くなっています。各ご家庭でのしつけの成果と推察します。学校でも引き続き「先手挨拶」「心地よい反応」に取り組んでいきます。また、「特別の教科 道徳」を中心に、考え議論する道徳教育、学校生活や学校行事等の振り返りを大切にし、思いやりや感謝の心を育む教育を充実させます。

IV 健康指導

多くの生徒が自分の体力向上や健康増進を意識し、規則正しい生活を送っています。昼休みには多くの生徒が元気よく身体を動かす姿があり、好感をもっています。各ご家庭でも、KYB活動の意義を再確認しながら、自らの生活を振り返り、生活改善に努めるよう励ましてください。

保護者アンケート

どの項目も肯定的な評価が高まっています。各ご家庭でのご協力ありがとうございました。学校では、昨年度、今年度2年間にわたり市の指定を受けて、人権教育、同和教育の充実に向けて取り組んでいきます。是非、お子さんと機と捉えて「人権」について話をしてみてください。誰もが人生を楽しめる共生社会を目指します。

1 学期学校評価保護者自由記述より

自由記述として、いくつかご意見をいただきました。内容を踏まえてまとめさせていただきました。一読いただき、御理解をいただくと共に今後の教育活動の充実に向けて御協力いただきたいと思いますと考えております。よろしくお願いいたします。

<部活動について>

- ・活動の充実を求める声が、複数寄せられました。また、さらに一人一人に目を向けた指導をしてほしいとの要望がありました。
→全国の流れを受けて、部活動の地域移行が徐々に進んでいきます。糸魚川市でも部活動指導員制度が導入され、部活動の顧問と連携をしながら、一人一人に寄り添った部活動運営を進めています。当校でもさらにいろいろな部活動で、部活動指導員を活用した指導体制を整備していきます。御理解と御協力をお願いします。

<体育祭について>

- ・6月開催への肯定的な評価とともに、少し忙しいのではないかというご意見をいただきました。
→多数の肯定的な評価をいただきました。全体的に子どもたちの活動を振り返ると、熱中症のリスクを減らすことができ、安全に準備し、当日を迎えることができたと考えています。今後も5月～6月での開催を考えています。
- ・応援のTシャツが無くなり、パネルが小さくなり、準備時間が少なくなり少しさみしい気がしますとの声をいただきました。
→体育祭での大きなねらいは、人間関係づくりです。パフォーマンスとしての出来映えよりも、悩みながらリーダーとして、フォロアーとして一つにまとまっていく過程を大切に指導しています。ぜひ、御家庭でも応援していただけると子どもたちの励みになります。また、体育祭の規模ですが、コロナ感染症、熱中症、学習指導要領に基づくカリキュラム全体の見直し等を考え合わせて徐々に縮小する方向で考えています。準備時間については、様々な工夫をし、昨年までとほぼ同じ時数を確保しました。今後も多方面から改善を加え、生徒一人一人成就感を味わえる行事にしていきます。

<学習面について>

- ・思考力を高める学習指導をもっと入れてほしいとの声をいただきました。
→学習指導要領で求められている学力の一つです。「伝え合う」ことをテーマに学校全体で学力向上に努めているところです。学力を高めるためには家庭学習の充実が欠かせません。主体的に家庭学習に取り組めるよう励ましていただければと思います。今後も、ICT等も活用しながらさらに工夫していきます。